

命の授業

～命の尊さを実感しました！～

5年生が、担任の荒瀬先生と養護教諭の中川先生のT・Tで理科の「人のたんじょう」を学習していました。

5年生では、卵や胎児の様子に着目して、受精した卵は、時間の経過とともに母体内で少しずつ成長して体ができることや母体内でへその緒を通して養分をもらって成長することを学習します。

母体内の成長については、観察することが難しいので、中川先生手作りの教材を使って、小さな小さな卵が少しずつ成長して体ができることを捉えました。

学習を通して、命の尊さを実感した子どもたちでした。

